

# 洞爺湖・烏帽子岩 (290m)

平成 28 年 11 月 26 日 (土)

L 安田 藤木(晴) 藤木(たか) 近藤 山岸  
及川 小山内 長沼 渡邊 以上 9 名

## 山行行程

9 : 50 ネイパル洞爺(跡地)登山口

10 : 40~10:55 烏帽子岩

(下山時、マタタビ・コクワ採取)

11 : 45 ネイパル洞爺(跡地)登山口

9 時、伊達道の駅出発ということで、久しぶりに朝食をいただきました。おにぎりを買って 10 分前に着くとすでに全員が集まっていた？

仕事と風邪で三人ほど足りなかった。すぐに二台の車に便乗して現地へ向けて出発する。

平地では雪が無かったが洞爺湖に入るとそこは雪国だった(何かのシーン)。おまけに道路はアイスバーン、リーダーは雪面の運転は初めてということで慎重に運手していた。

9 時 40 分、現地到着、駐車場が閉鎖されているため空き地に駐車、正面に烏帽子岩が見える。



登山の用意をして早速歩き始める、立ち入り禁止ではないが、今にも落ちそうな橋を渡り、広々としたネイパル洞爺跡地を通り登山口へ、立派な看板と奥には前からある趣のある看板が立っている。



たった、標高差 190m、甘く見ていたかもしれないが、意外と急峻であせが額から落ちて来る。

また、雪が積もっているせいで足元が不安定、良く滑る。指導員養成講座のアイゼン無し歩行の歩き方指導方法が頭をよぎる。



途中、熊の足跡を発見、すぐ下に民家がある、にもかかわらず近くを熊が歩いている。用心に越したことは無い。時折、洞爺湖や有珠山、昭和新山などが木の切れ間から望まれる。岩を半周して到着。名の通り烏帽子を立てて置いたみたいに立っていた。



今度、来た時にはあのでっぺんに立ってみようか、

この先にある山に登ってみようかなど洞爺湖の景色を堪能して 15 分ほどで下山開始。滑る登山道に注意しながら下り、登山口近くのマタタビ・コクワを採取、一度凍った実はとても甘く美味しく頂きました。後で調べて分かったことがどちらの実もマタタビ科に属すること、勉強になりました。下山して 12 時、キムンドの湯に直行、風呂には、リンゴが沢山浮かんでいる。かすかにリンゴの匂いがする中入浴、浮かべてあるリンゴを突然パクリ一個丸々食べる(えっ、食べるの)。今まで誰も食べたことがないのでは。

風呂からあがり、昼食はあったかいどんを注文。美味しく頂きました。解散はキムンドの湯で。そうそう、この後、私の他数名は、次に登る山の偵察に。

記録 渡邊